

平成28年度学校だより

平成28年 4月 6日



にしはら

4月号

渋谷区立西原小学校

平成28年度スタート

校長 手代木 英明

日曜日に満開となった校庭の桜、可愛い紫の花をつけた花壇のスマシ、プランターのアブラナ、チューリップなど春の花が咲いて子供たちを迎え、平成28年度がスタートしました。

新1年生107名(4学級)を迎え、全校児童559名(18学級)で西原小学校の教育活動が始まりました。新1年生の保護者の皆様、お子様の小学校ご入学おめでとうございます。そして、進級した児童の保護者の皆様、進級おめでとうございます。

新3年生は、2学級のスタートです。これは、1・2年生は、都の学級編成基準で35人学級ですが、3年生からは、国の基準である40人学級になるため、児童数80名の3年生は2学級となりました。

新1年生は、昨年度に3学級を想定して学区域外の入学希望者に対して抽選を行いました。その後、転勤や引っ越しで学区域内の児童数が区の想定以上に増えたために4学級編成になりました。地域の皆さんが西原小学校を選択してくださったことは、大変嬉しいことです。これからも、子供たちの限らない思いや願いに応えられるよう、教職員一同、全力で頑張っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。



日曜日は見事な満開でした。花壇のスマシは、どんどん増えています。

学校・地域で輝く「にしはらの子」を育てる。

西原小学校は、「児童が輝き」「保護者・地域に信頼される学校」を目指して、教育活動を行っています。これまでの取り組みと、今年度の重点について説明します。

26年度 話を一度で聞き取る子供を育てる。

まず、「子供たちに“いい耳”をもたせる。」という目標を立てました。学習は、話をしっかり聞き取れることが前提です。先生の指示をしっかりと聞き、これから何をするのか、どう行動したらよいか、自分で考えて行動できるように指導してきました。今では、全校朝会や避難訓練でおしゃべりをする子はいません。

27年度 自分のことが話せる子供を育てる。

次に、「自分のことがはっきり言える子供を育てる。」ということをやりました。優しい心や優れた考えをもっていても、言葉に表さなければ相手に伝わりません。まず、大きな声であいさつをする。そして、授業で、みんなに分かりやすい発言をすることを重視しました。その結果、自分の言葉で話せる子が増えました。

28年度 自分の意見や考えが書ける子供を育てる。

そして、今年は「自分の考えや気持ちを文章に書き表せる子供を育てたい。」と考えています。考えや気持ちは、文章に書くことで整理できます。分かりやすく話せる子は、筋道の通った文章が書ける子です。文章をたくさん書かせて、しっかりと評価していきます。書く活動を重視しますので、ノートをたくさん使います。お子さんが書いたノートを見ていただき、褒めてあげてください。ご協力をお願いいたします。

